

遠賀川と人と

むねかた

かずよし

棟形 和義 氏

遠賀川川下り大会 実行委員会 事務局長

「石炭船が往来した遠賀川をボートで川下り」と川筋男たちの心意気に思いをはせて、昭和55年8月3日、二人の男達が初めて遠賀川を下った。穂波から芦屋までの40km、9時間10分かかった。ゴールまでに堰が九つ、堰を強行突破しての川下り…。あれから30年が経過しました。

遠賀川はおれたちの川
やさしく見守ってくれた

遠賀川流域だより

第012号
2010年1月

第30回大会が8月2日に開催されました。残念ながら、7月末の記録的な豪雨で、一週間の延期となり、参加チームも減少しましたが、遠賀川が大好きな老若男女が、川下りに挑戦しました。

この川下り大会は第6回目から23年会（昭和23年生まれの有志）が主催するようになり、この時期より棟形氏が関わるようになりました。当時の参加費は一人2千円、大会を運営するため、協賛金集めに苦労したと言われます。

第12回大会から中の島（飯塚市）から木屋瀬まで河川延長にして23kmの大会となりました。手作りいかだレースでは日本で最も長い距離です。第14回で参加費を3千円とし、第17回より、漕ぎ手の交代制限を撤廃し、多くの人員で参加するチームが増えたこともあり、参加費が増加して運

営も安定するようになったそうです。

第23回から「遠賀川川下り大会実行委員会」に移行し、棟形氏が事務局長となって運営を支えてきました。

参加者が最も多かった大会は遠賀川で全日本イカダサミットが行われた第21回大会（平成12年）。88チーム、651人。第24回大会では、記憶に新しい平成15年7月19日の洪水によって、遠賀川流域では大規模な浸水被害が発生しました。その一週間後に静かに開催し、災害見舞金を寄付されました。

遠賀川の改修工事と共に変わっていくつある「遠賀川川下り大会」。川筋男たちの思いはたくさん。参加者に受け継がれています。運営が厳しい時は、家族や友人の協力で大会を開催してきたが、現在ではスタート地点の開会式や4つの堰、ゴール地点で、百人を超えるボランティアの皆さんが運営を支えていらつしやいます。

昨年還暦を迎えられた棟形氏。いよいよ、「遠賀川のかっぱ」となって、人々を川に引きずり込むうとしていらつしやいます。

平成21年9月27日には田川市穂（高柳堰）で第1回彦山川ペーロン大会も開催され、来春にも親子ペーロン試乗会を計画中との話もあります。今後も棟形さんの動きに注目していきたいと思ひます。



第28回大会のスタート時



今年度の第30回大会

遠賀川流域で活動する団体が集い報告会を開催

主催：NPO法人遠賀川流域住民の会

基調講演内容の抜粋



福岡県県土整備部
横枕河川課長

平成21年12月5日（日）飯塚市（のがみプレジデントホテル）で「遠賀川流域活動団体報告会」が開催されました。「福岡県の河川行政」をテーマに福岡県県土整備部河川課長の横枕篤氏に基調講演を行って頂き、事例発表では、飯塚市立目尾小学校6年生が「遠賀川の河川学習体験」や「私たちが考える遠賀川」としてもっと楽しく学べるための河川敷の姿について発表しました。また、今年30回目を終えた「遠賀川下り大会」事務局長の棟形さんに大会の歩みを報告して頂きました（一面遠賀川と人と参照）。流域の活動団体同士の意見交換も会場で実施されました。今後の更なる遠賀川での活躍を期待しています。

河川整備の事例として、建花寺川の河川浄化整備

（飯塚市伊岐須・二瀬中学校前）について報告します。

建花寺川は小中学校の近くを流れ、悪臭やごみの苦情が住民から寄せられていました。また、河川愛護団体からの働きかけもあり、川の中の環境整備を行った結果、魚や鳥が棲むようになり、地域住民の協力で清掃活動が行われるようになりました。

福岡県では、河川清掃活動等をしている団体に「河

川愛護活動支援」を行っています。遠賀川水系の河川愛護団体の登録は22団体、河川清掃区間は38km。平成20年度ののべ作業回数は89回、のべ作業延長は109km、のべ作業人数は2711人が清掃活動に参加しました。

10月はふくおか川の大掃除月間とし、第4日曜日を重点実施日として、河川愛護団体に呼び掛けて実施しています。

河川愛護団体の申請については、近くの県土整備事務所（用地課管理係）で受付を行っています。また、企業などが河川の除草・清掃または河川愛護団体の支援を行う場合も、その企業などに県が支援を行います。

「私たちが考える遠賀川」～目尾小学校6年生の発表～

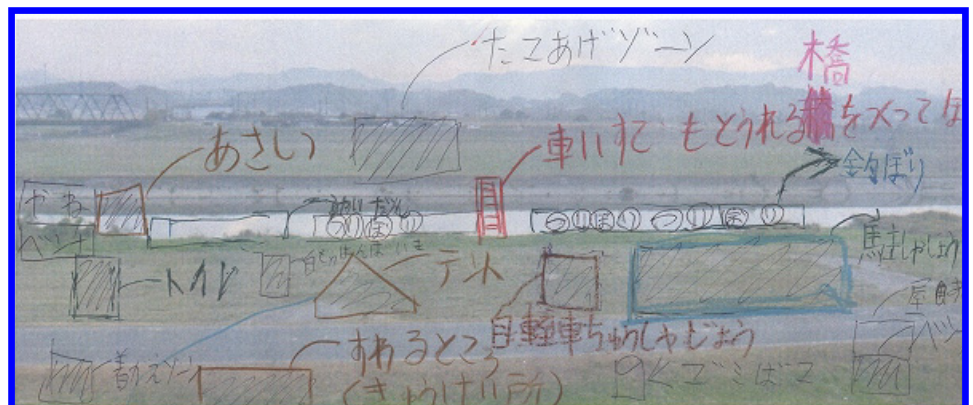


小学生の発表

小学校の前の河川敷を対象に「私たちが考える遠賀川」について考え、取りまとめてくれました。これまでの目尾小学校の取り組み（鮭の稚魚の放流、や遠賀川に戻ってきた鮭についての見学、水辺の学習（川の水質調査））の紹介や、小学校前の河川敷についてもっと学習が楽しくなるようにと皆で考えた河川敷の姿について、6年生の代表が発表してくれました。

皆で考えた遠賀川の姿

写真を背景に楽しい河川敷を思い思いに書きこみ！！



みんなで遠賀川について考え、思いを描いてくれました！

目尾小学校では1・2年生は遠賀川で、「生き物見つけ」や「季節見つけ」をしています。5年生は、理科の時間に「流れる水の働き」を遠賀川河川事務所の職員と一緒に学んでいます。子どもたちに遠賀川のことについて考えた経験を将来の遠賀川をきれいにする取り組みに繋げてくれると思います。遠賀川に関心を持ってもらえるよう流域の小学生等への河川学習の出席講座に取り組んでいきます。

第16回 遠賀川中島自然再生ワークショップ

主催：遠賀川河川事務所 河川環境課

遠賀川の河口から11km付近（中間市）に位置する中島は北九州市八幡西区や鞍手町に接し、周囲約2.5km、面積約30ヘクタール（福岡ドーム4個分とほぼ同じ）の中州です。都市化が進む遠賀川中下流域において大規模なヨシ原やヤナギ林などの多様な植生や鳥類、哺乳類等の重要な生育・繁殖環境となっていますが、近年では外来種の侵入や乾燥化が進み、中島本来の自然が失われつつあります。

一方、遠賀川中下流域においては、氾濫原的湿地の減少、河道内における湿地の減少、水環境の単調化による生物多様性の低下、人と川との関わりの希薄化などの課題が生じています。そこで中島を対象として「湿地の創出」や「人と川との絆の再構築」を目指した計画（遠賀川中島自然再生計画）の実行に向けて事業を進めています。

計画策定にあたっては、皆さんのご意見を基本とし、地域に根付いたものとしてと考えています。その意見交流の場として07年から「遠賀川中島自然再生ワークショップ」を立ち上げました。



ワークショップに集まった参加者

11月3日（祝日）は第16回ワークショップを開催。掘削中の湿地観察や竹林での竹の伐採経験や、食事会など24人の会員メンバーが体験しました。

まず、掘削中の湿地へ移動し、水路に生息する魚類や湿地に生育する植物を観察しました。

投網を使って魚とりを実施し、ギンブナやモツゴ等が確認されました。植物では「ススキ」に似ている「オギ」「ヨシ」「ツルヨシ」の見分け方も教えていただきました。また、野うさぎのフンやイノシシの足跡などを見つけました。

中島の環境保全ため、竹林に入って伐採をしましたが、竹が乱立しており、大変です。



植物について詳しく知ろう



イノシシの足跡を発見！



投網を使っての魚とり



利活用のために看板の周りの草もきれいに刈ります。



伐竹を使ってご飯を炊いて、豚汁とともにいただきました

竹を使って窯やはし・器を作りました。初めて体験する方が多く、上手にナイフなどを使っている人や、慣れない手つきで頑張っている人など、本当にありがとうございました。

竹の窯で焚くお米はとても時間がかかったのですが、1時間ほどすると甘みのあるおいしいご飯ができあがりました。

今後もワークショップを開催していきます。



主催：大任町商工会青年部・女性部



当日の会場
コスモスがきれいです



川の中へ入って、しじみ採りも楽しみました

「大任町六本松（出雲神社前）で整備された河川敷で「第23回しじみ祭り」が「1個のしじみが、1日コップ1杯の水を浄化する」といわれるしじみの浄化作用に着目し、大任町商工会青年部・女性部が10月25日（日）に開催され、たくさんの親子連れで楽しんでいました。

開会式終了後よりしじみ採りがさっそく行われました。大任町消防団による記念放水、バンド演奏、大なわ跳び大会など河川敷を活用し、川に親しみを持ってもらい、彦山川をきれいにしようと呼びかけを行っています。

嘉麻市大隈の鯉神社で献鯉祭が行われました



鯉の奉納

鯉を祭っている鯉神社で12月13日に氏子、流域住民など五穀豊穡や無病息災を祈ると共に、遠賀川を遡上してきた鯉を奉納する「献鯉祭」が行われました。

鯉神社は奈良時代に建立されました。遠賀川を遡上してきた鯉は神の使いとして境内にある鯉塚に奉納されます。今年も遠賀川支川 西川で鯉3匹が確認されました。昨年は遠賀川、西川、彦山川などで4匹が確認されており、2年連続で複数の鯉が確認されたのは平成12年度以降では初めてです。稚魚の放流事業や河川清掃等、川をきれいにする活動の成果が現れてきたのかもしれない。

今年度の遠賀川洪水の写真パネルを展示しています

平成21年7月24日から26日の遠賀川洪水の写真パネルを作成し、展示しています。河川防災情報の入手方法についても説明パネルと一緒に展示しています。今年の梅雨に向けて防災について考えてみませんか？

この他、合計11枚を展示しています

展示場所

直方市溝堀1-1-1
遠賀川河川事務所1階ロビー

展示パネル

直方市、飯塚市、小竹町の洪水時の河川写真等を11枚展示しています

観覧時間

平日の月曜～金曜の8時30分～17時15分
(入場無料)



直方市勘六橋付近



飯塚市芳雄橋付近

遠賀川流域だより

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

発行 国土交通省遠賀川河川事務所

住所 直方市溝堀1丁目1-1

電話 (0949) 22-1830

FAX (0949) 22-2859

HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

協力 NPO法人遠賀川流域住民の会

電話 0948-22-3535

<http://www.ongagawa.jp/>

